

様式3

会議録

会議名 (審議会等名)	令和7年度第1回相模原市文化財保護審議会			
事務局 (担当課)	文化財課 電話042-769-8371（直通）			
開催日時	令和7年9月24日（水） 10時00分～11時25分			
開催場所	相模原市役所 第2別館5階教育委員会室			
出席者	委員	9人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	3人（文化財課長 他2人）		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の 場合は、その理由	相模原市審議会等公開基準第2条第1号第1号及び情報 公開条例第7条第1号及び第2号に基づき非公開情報に關 して審議するため。			
議題	(1) 相模原市登録文化財の登録の抹消に係る諮問について (2) 相模原市文化財の新指定・登録候補について (3) その他			

議事の要旨

審議会の冒頭、本日の議題2相模原市文化財の新指定・登録候補については、個人及び法人の権利に係る内容の審議になることから、相模原市審議会等公開基準及び情報公開条例に基づき、非公開にすることについて了承された。

議題（1）相模原市登録文化財の登録の抹消に係る諮問について

事務局から説明を行い、質疑応答が行われた。

(内川副会長) 記録保存は細かくされたと思うが、瓦の一部や柱時計があつたり、装飾的な物や手すりが残っていたが、そのようなものは保存はされているのか。

(事務局) 現状保存が難しいことになったので、一部建具等の部材保存について協議はさせていただいていた。最終的に大学の方で、例えば、玄関先の大きな切り石や、建具としては古い鍵がついている縦長の上げ下げ窓、瓦葺の瓦の一部保存など、そのようなものをデジタルアーカイブを担っている部署が資料として保存し、今後、解体された場所に新たな校舎を新築し、展示ベースを設けるという話を伺っている。

(浜田委員) 相模女子大の事務局長からは、大学としては保存は厳しいものの、なるべく保存したいと聞いているが、保存環境が良くない場所に置かれると思うので、今後腐ってしまったりしないような対策を検討しないといけないと思う。出来れば博物館で引き取って、保存あるいは展示して活用するのがいいと思う。博物館開館30年で収蔵庫が満杯と聞いているが、なるべく市としても博物館資料としてそれらの部材を保管する方向性を検討した方が良い。

(海老澤委員) 事務局と調査をしていく中で、考えるところがあった。相模原市と今回のように抹消をしたのは初めてか。

(事務局) 建物で登録・抹消されたのは、青根小学校木造校舎があつたが焼失により登録抹消となつたため致し方なかつた。また、相続の関係で現状保存が難しくなり、解体されたものがある。旧大谷家主屋で、清兵衛新田という江戸時代の新田開発に伴う建物だが、解体され、最終的に教育委員会で部材保存した。登録だったが、当時の審議会で審議いただき、部材保存により指定にさせてもらった。

(海老澤委員) 建造物は特殊で物が大きいため残すのが難しいという話が必ず出てきて、保存か取り壊しかで学会でも問題になることがある。今回その例なので、このことは審議会としても記録、記憶に留めておいて、今後、同じようなケースの時にどう対応するか考えておいた方がいいと思う。たまたま着任して初めての会議の時にこの話があり、その後現地に連れて行ってもらったが、その際は建物の評価を正直うまくできなかつた。建物の評価には相対的な面もあるので、同じようなものがどれくらい残っているかとか、見比べないとなかなかわからないところ

ろもある。その後、調査することになって、まず、類例が少ないということがわかった。相模原市でも陸軍の建造物として残っている最後の段階のものであるということで、貴重なものであることがだんだんわかってきた。その段階で取り壊しが本格化してしまったのは、非常に惜しいなという気もあった。さらに、最後の段階、8月に保護用の後付けの外壁を取ったら、元の下見板が出てきて、保存状態が良かったので非常にもったいない。とはいえ、日本の文化財は所有者の意向が強く反映されるので、今回は仕方なかったと思う。あまり責めたりすると登録してくれる人がいなくなる問題もあるので、今回の件をしっかりと記録し、報告書に記したいと思う。

議題（2） 相模原市文化財の新指定・登録候補について

- ・相模原市審議会等公開基準第2条第1項第1号及び情報公開条例第7条第1号及び第2号に該当する情報を審議するため、議題2について非公開とすることを決定した。
- ・文化財の新指定・登録候補の7件について、事務局が説明を行い、その後に質疑応答が行われた。
- ・新指定・登録候補7件については、令和8年2月ごろに開催を予定している第2回文化財保護審議会にて諮問し、現地を確認することになった。

議題（3） その他

- ①相模原市文化財保存活用地域計画の進捗状況について
 - ②亀が池八幡宮旧本殿の指定変更について
 - ③井原寺の木造聖観音菩薩立像の保存修理について
- 以上3件について、事務局から説明を行い、質疑応答が行われた。

(内川副会長) 地域計画だが、審議中から国からの細かな指導がその都度てんこ盛りになっていたが、まだ提出が出来ていないというのは大変だなという感想である。提出出来たとしても計画を実行していくことになり大変になると思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

(鹿野委員) 地域計画のパブコメでは、辛辣な意見はあったのか。

(事務局) 2件の意見をいただいた。博物館を大阪万博みたいにしたらどうかという意見があった。もう1件は、無形民俗文化財の人をナラティブという概念で言い表しており、当事者の意識をアーカイブ化して記録として残した方がいいという意見だったので、その点は計画に反映している。

相模原市文化財保護審議会委員出席名簿

(令和7年9月24日開催)

No.	氏 名	所 属 等	出欠席	備考
1	薄井 和男	中世美術史（彫刻） 元神奈川県立歴史博物館館長	出席	
2	内川 隆志	日本考古学 國學院大學文学部教授	出席	副会長
3	海老澤 模奈人	建築史（近代建築史） 東京工芸大学工学部教授	出席	
4	鹿野 陽子	造園学（景観） 岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授	出席	
5	神崎 直美	日本近世史 城西大学経済学部教授	出席	
6	中島 彩花	日本美術史（中世絵画、染色文化） 女子美術大学研究所特任助教	欠席	
7	萩谷 宏	地球科学（地質学・岩石学・地球史） 東京都市大学理工学部准教授	出席	
8	浜田 弘明	人文地理学 桜美林大学リベラルアーツ学群教授	出席	
9	宮本 太	植物分類・生態学 東京農業大学農学部教授	欠席	
10	山崎 祐子	民俗学 一般財団法人宮本記念財団理事	出席	
11	山田 正法	郷土史 元相模湖町文化財保護委員	欠席	
12	山本 雅子	解剖学、発生学（動物） 麻布大学名誉教授	出席	会長

任期は、令和6年10月1日から令和8年9月30日まで